

議案外質問(6月26日) くれまつ順子議員

# 敬老パスの対象路線の拡大を 市バス・地下鉄などは交通利用の約6割



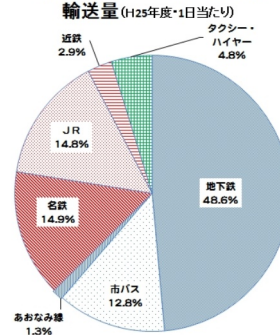
敬老パスによる経済効果は316億円、敬老パス経費の2.6倍と名古屋市の調査でも明らかです。敬老パスで利用できる交通機関をJR・名鉄・近鉄に拡大する経費は約52億円との試算がありますが、その分、経済効果も増えます。くれまつ議員が「敬老パスの対象を民間交通機関に拡大を」と求めると、健康福祉局長は「相当な追加費用がかかる。ICカード導入で利用実態を把握し、使い勝手を検討する」と答えました

に社会的効果も市民に説明すべき」と追及しました。

## 費用以上の効果がある。早期拡大を

くれまつ議員は「費用だけでなく、社会的効果の広がりについても試算し、住民への説明会、や見聴取会

名古屋市内の主な輸送業者別



名鉄線の駅別利用者(1日あたり25年度)

駅名	線路	利用者数
名鉄名古屋	名古屋本線	140,431
金山	名古屋本線	77,351
栄町	瀬戸線	19,911
神宮前	名古屋本線	15,726
大曾根	瀬戸線	15,559
鳴海	名古屋本線	8,998
上小田井	犬山線	8,958
有松	名古屋本線	6,831
堀田	名古屋本線	6,718
大森・金城学院前	瀬戸線	6,397
大同町	常滑河和線	6,254
小幡	瀬戸線	6,000

# 学校の給食費無料化を 「無償の拡大は必要で、泣かせる話」(市長)

## 子育て世代の暮らし応援に 中学校も小学校と同じ給食にして無料化を

昨年、こどもの貧困対策法が制定されました。子どもの貧困予防対策としても学校給食の無料化は重要です。くれまつ順子議員は、子育て世代の暮らしを応援するために名古屋市でできることとして学校給食の無料化を提案しました。

「弁当もスクールランチも食べない子どもがどれくらいいるのか」と質問しましたが、教育長は「継続的に昼食を食べていない生徒はいなかった」と答弁。くれまつ議員は「こどもの貧困が問題となっている今、朝ご飯をきちんととっているかどうかも含めてこどもの食生活の実態調査を」と強く要求、「スクールランチなど、給食について意見を聞くべき時期にきている。小学校給食と同じスタイルにして無料化を」と求めました。

## まず第三子の給食費無料化の実施を

学校におさめるお金は、給食費以外に教材費や修学旅行費、部活の費用などもあります。小中学生二人の

区分	利用率
標準保護	81.2%
要保護	84.6%
全体	59.4%

	男子			女子		
	毎日	時々	食べない	毎日	時々	食べない
小学生5年生	85.9	12.9	1.2	88.1	11.1	0.9
中学校2年生	80.6	16.0	3.4	79.9	17.7	2.4

小中学校9年間の1人当たり学習費



給食費が無料になれば年間12万円家計が助かる。ほんとうに切実な要求です。くれまつ議員は「たくさん子どもを育てている家庭への応援を、第三子の給食費無料化の実施を」「子どもが多い世帯の経済的負担の軽減を」と河村市長を追及しました。市長は「無償を拡大していくことは必要、泣かせる話」と答えました。

## 経済的負担の軽減という意義まで 否定するのか(田口議員の関連質問)

教育長は「第3子からは児童手当が増額されている」と児童手当を持ち出して、答弁をはぐらかしました。田口議員が関連質問に立ち、「児童手当が増額されていても、市立幼稚園の授業料を第3子以降は大幅に減免するなど、教育委員会自身が子どもが多い世帯の経済的負担を軽減している」と批判し、「子どもが多い世帯の経済的負担を軽減するという意義を認めるのか、否定するのか」とたどしました。



教育長は「財源が無限であればいいが」と答え、田口議員は「必要な経費は2億円程度。何とかできるの金額だ」と追及。教育長は、「優先順位があるのですぐにはできない」と答えました。田口議員は、できることから真剣に検討すべきと求めました。